

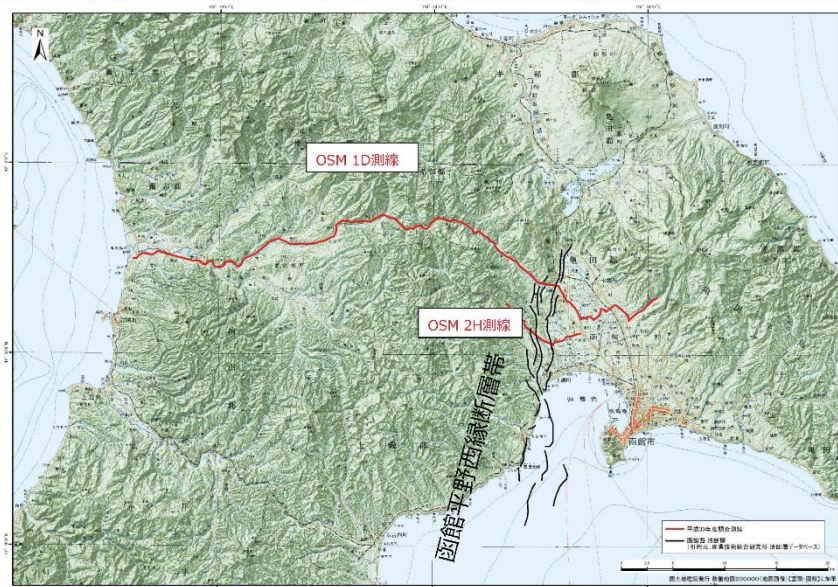
日30-2-2-3

2-3 沿岸海域および海陸統合構造調査 (陸域区間)

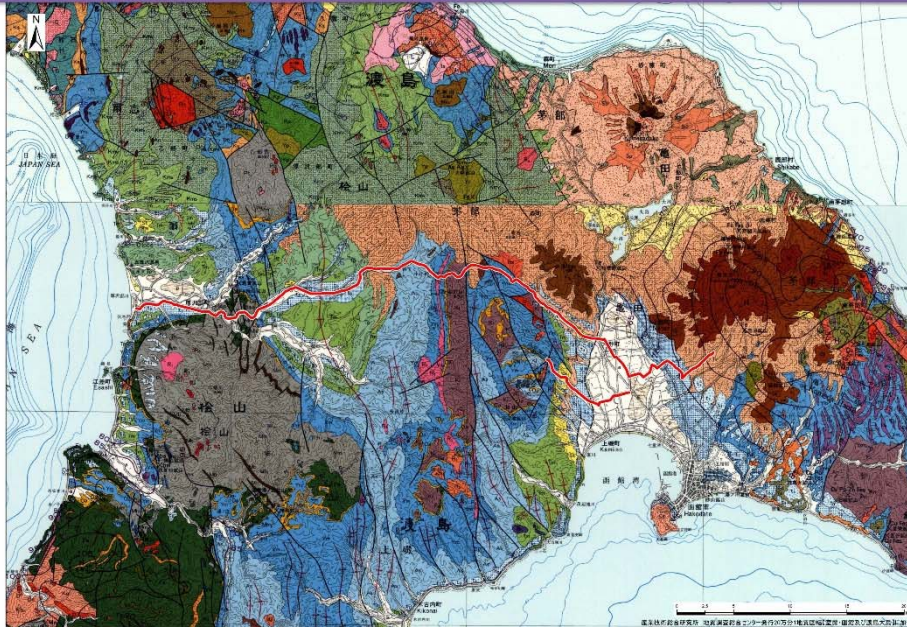


東京大学地震研究所

平成30年度「渡島半島横断地殻構造探査」



H30 渡島半島横断地殻構造探査 測線図+地質図



産総研地質調査総合センター発行20万分の1地質図(室蘭・函館及び渡島大島)に加筆

H30 渡島半島横断地殻構造探査 データ取得仕様

長測線

測線長: 54 km
 発震系
 震源: 大型バイブレータ 4-5 台
 スweep周波数 6 ~60 Hz
 スweep長: 20 秒
 標準発震点: 150 m, 集中発震 5km
 一箇所での発震回数: 8~12 回
 総発震点数 323

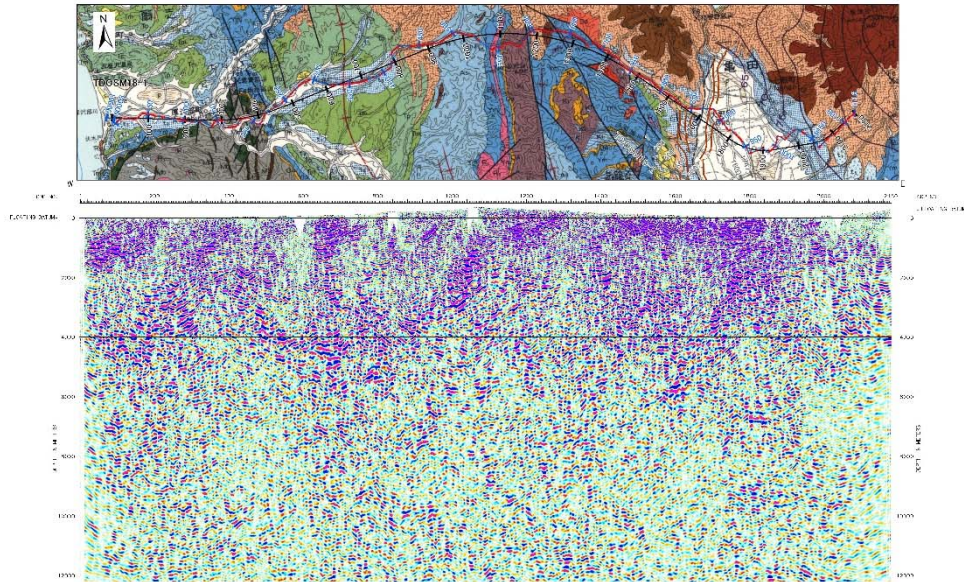
受振器

受振器 10 Hz
 展開パターン 固定展開 1119 ch
 受振点間隔 50 m,
 観測器 GSX, GSR (独立型)
 サンプリングレート 4 ms
 記録長 8 秒
 観測モード

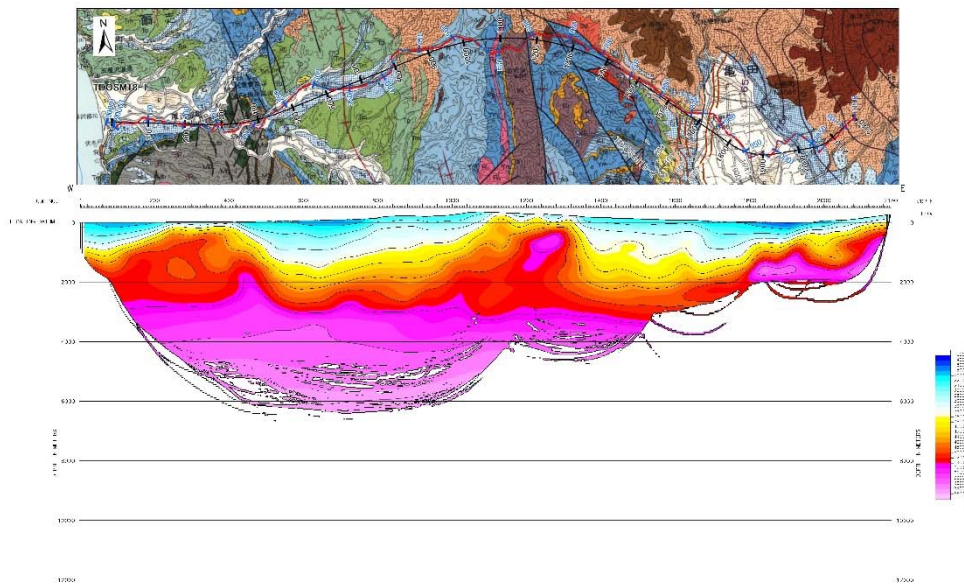
高分解能測線

8km
 1 台
 10 ~100 Hz
 16秒
 10 - 20 m間隔
 3 回
 643

連続

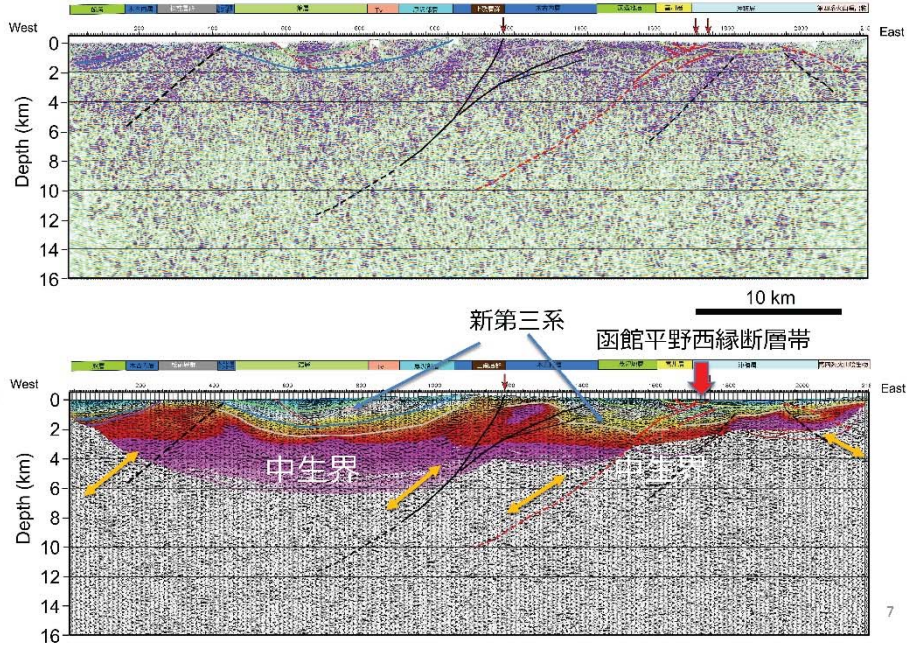


Migrated Depth Section(1:2)

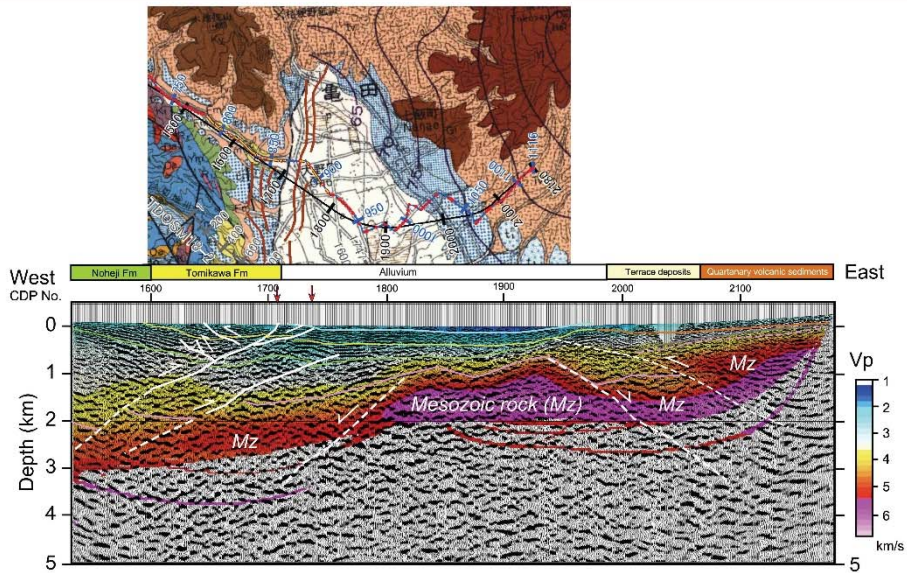


Traveltime Tomography Result (1:2)

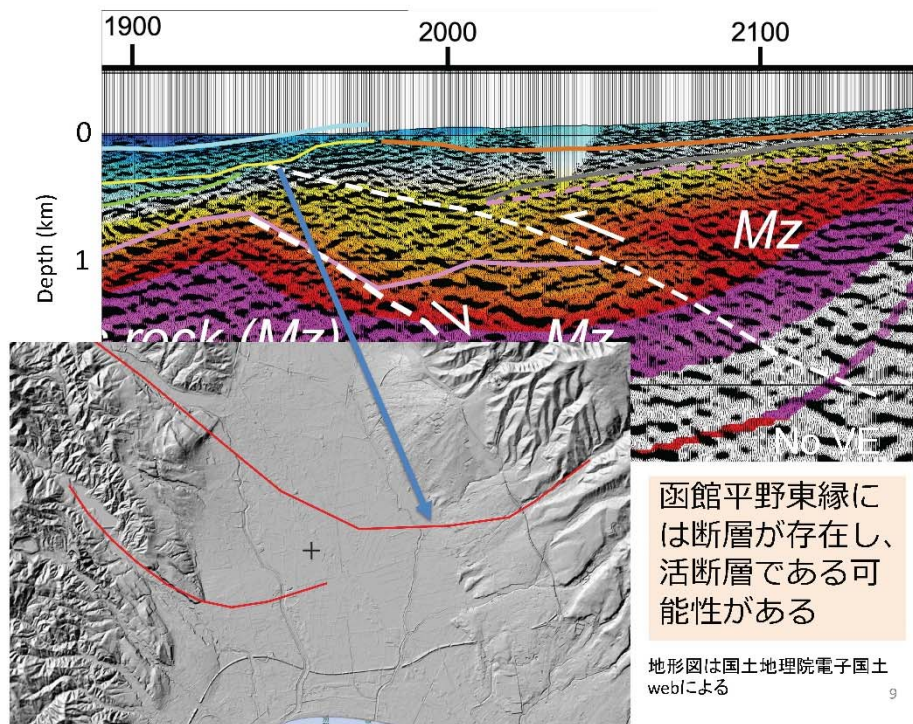
反射法深度変換断面の地質学的解釈



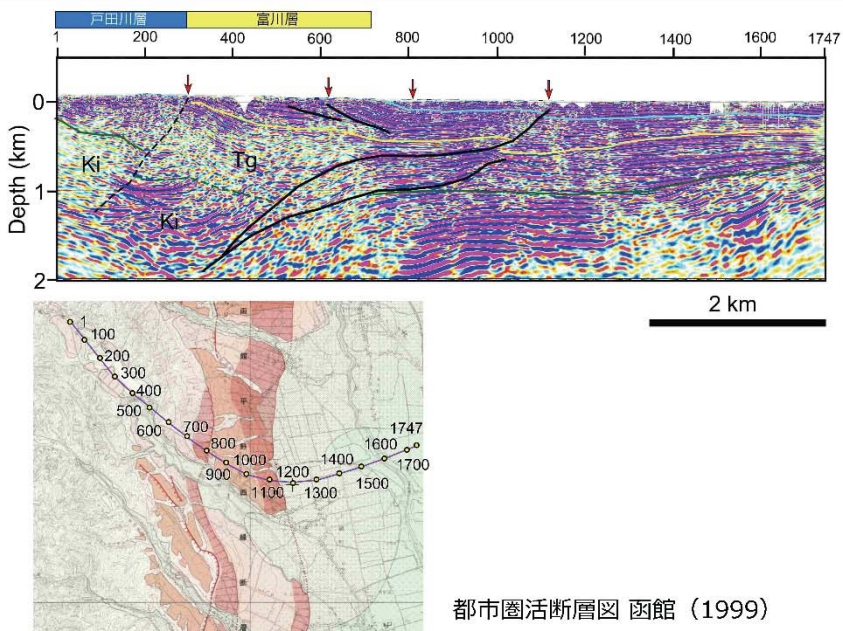
函館平野横断反射法深度変換断面の地質学的解釈



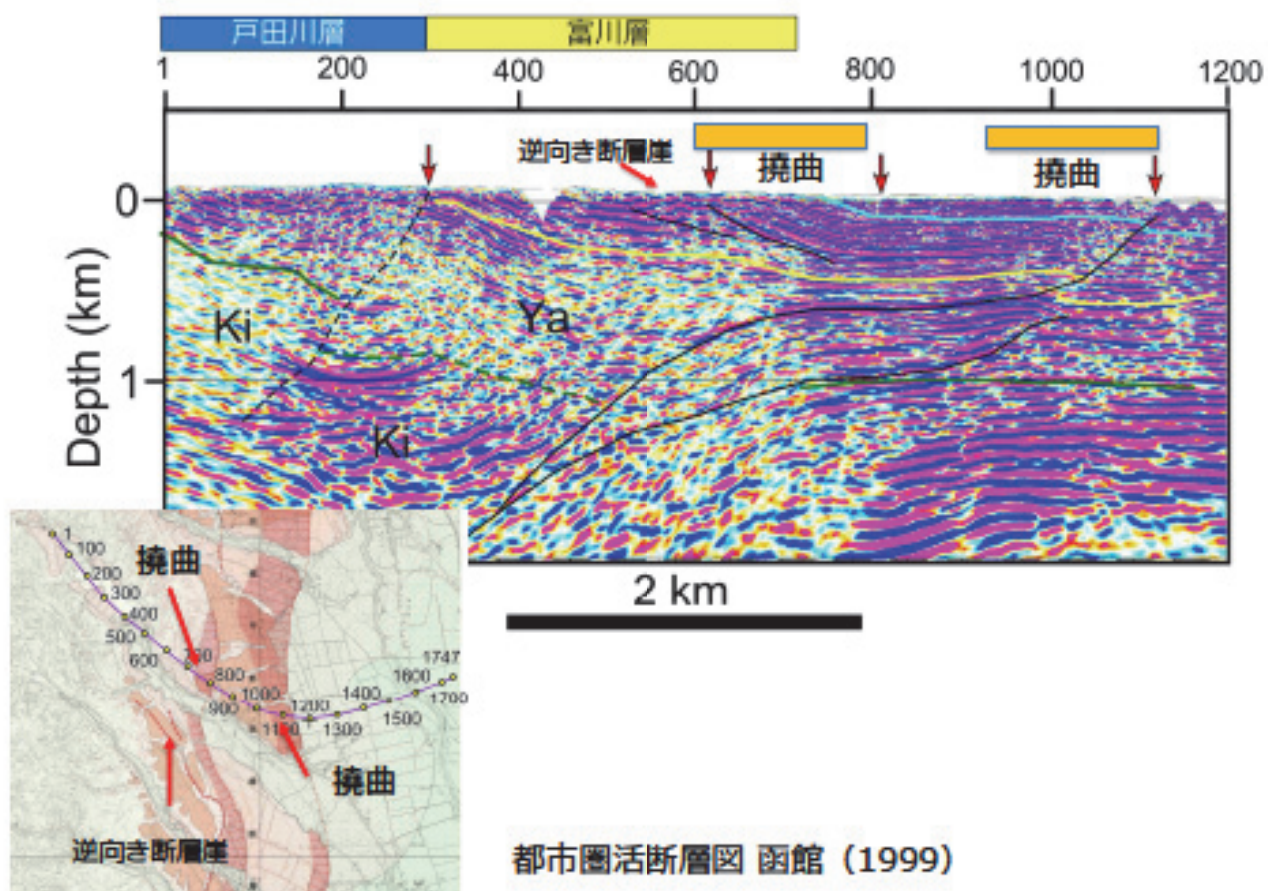
No VE



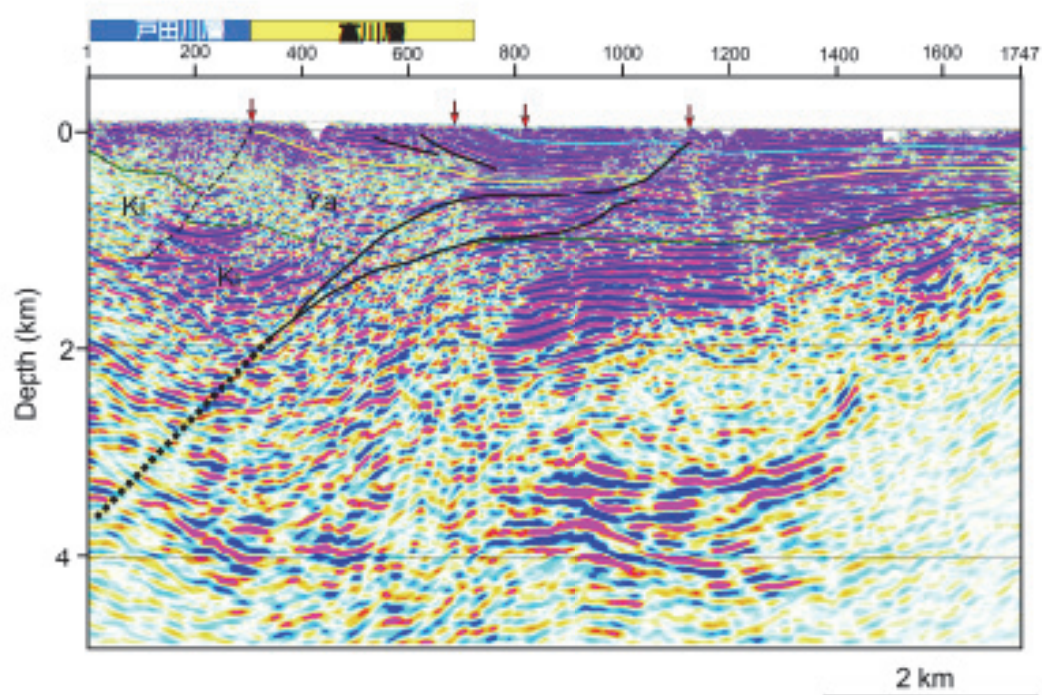
函館平野西縁断層帯を横切る高分解能反射法深度断面



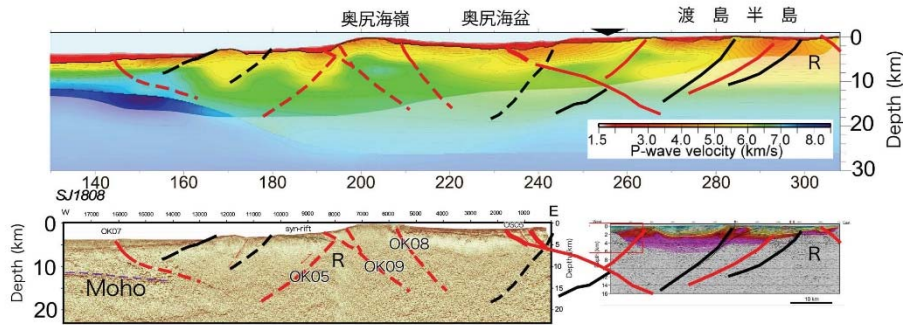
函館平野西縁断層帯を横切る高分解能反射法深度断面



反函館平野西縁断層帯を横切る高分解能反射法深度断面



日本海盆-渡島半島西部の統合断面と地殻構造



日本海形成期の地殻の伸展構造と新期の短縮構造

まとめ

渡島半島横断：海陸統合断面により日本海形成期の正断層構造とその後の短縮変形の断層の再活動が明らかになる。

函館平野東縁に逆断層が存在し、活断層の可能性はある。

2019年度 海陸統合探査 庄内-新庄測線

